



八木の干拓



石岡駅東地区出土機銃

石岡市文化振興課職員が
日頃の調査・研究の成果を紹介します。

事前申込制
定員 60人

第9回

石岡市文化財調査報告会



盆綱(ジャメ)の木製頭部



敷物圧痕のレプリカ

令和8年
1月24日(土)

13時00分～16時30分予定
八郷総合支所1階
101～103会議室
(石岡市柿岡5680番地1)

定員: 60人(事前申込制)
申込期間: 令和8年1月15日(木)まで
申込方法: QRコードから、または往復はがきから必要事項を記入し、お申し込みください。



必要事項: ①氏名、②氏名よみがな、
③郵便番号、④住所、⑤電話番号、
⑥メールアドレス
(インターネット申込の場合)

※定員を超えた場合は抽選になります。
上記申込期間で定員に達しない場合は、
先着で申し込みを受け付けます。



石岡市教育委員会 文化振興課

茨城県石岡市柿岡 5680 番地 1

電話 0299-43-1111

第9回 石岡市文化財調査報告会



日時 令和8年1月24日(土) 13時00分～16時30分予定

場所 石岡市八郷総合支所1階101～103会議室(石岡市柿岡5680番地1)

事前申込制(定員60人/多数の場合抽選)

13:00
～13:50

三村の盆行事で用いられた ジャームの木製頭について

飯塚 信久(石岡市教育委員会文化振興課)

平成27年に国選択無形民俗文化財に選択された「東関東の盆綱」。かつては石岡市内の霞ヶ浦周辺地域でも多くの集落で盆綱行事が行われていました。現在では、唯一東田中東地区だけが盆綱行事を行っています。今回、石岡市内の盆綱行事の最新映像と三村の盆綱行事で用いられた「ジャームの木製頭部」について紹介します。



盆綱(ジャーム)の木製頭部

13:50
～14:40

縄紋土器の敷物と土器製作

金子 悠人(石岡市教育委員会文化振興課)

石岡市の縄紋時代の土器の底部には、編組製品や葉、植物の種実、昆虫、縄紋原体などの痕跡が確認されています。それらは、縄紋人が土器の製作をどのようにおこなったかを間接的に示すものです。今回は、編組製品を中心に縄紋人の土器製作における認知構造を考えます。



敷物圧痕のレプリカ

休憩(14:40～14:50)



八木の干拓

14:50
～15:40

霞ヶ浦最初の干拓事業

竹内 智晴(石岡市教育委員会文化振興課)

市域南部に広がる「八木の干拓」は、大正期から昭和初期にかけて霞ヶ浦最初の干拓事業として整備されました。食糧増産を求める社会の声に応じて事業の中心となったのは高浜地区の実業家・羽成卯兵衛です。今回は羽成卯兵衛が書き残した事業日誌から、八木の干拓事業の推移を紹介します。

15:40
～16:30

石岡海軍航空基地

谷仲 俊雄(石岡市教育委員会文化振興課)

アジア・太平洋戦争末期に急造された「石岡海軍航空基地」。現在でも滑走路の痕跡が直線道路として残るほか、飛行機を隠すための掩体壕も残っています。今回は米軍や海軍の資料、発掘調査の成果等から、「石岡海軍航空基地」を考えます。



石岡駅東地区出土機銃

申込方法

○インターネット
どちらかの方法にて
お申し込みください。
○往復ハガキ



①氏名
②氏名よみがな
③郵便番号
④住所
⑤電話番号
⑥メールアドレス
(インターネット申込の場合)

お知らせ
①～⑥の情報を
お知らせください。

申込期間

1月15日(木) 23時59分まで
(ハガキの場合は当日消印まで有効)
※定員を超えた場合は抽選になります。
上記申込期間で定員に達しない場合は、
先着で申し込みを受け付けます。

問合せ・申込先

〒315-0195
茨城県石岡市柿岡5680番地1
石岡市教育委員会文化振興課
電話: 0299-43-1111
FAX: 0299-43-1117
メール: bunkashinkou@city.ishioka.lg.jp